

住田町とmore treesの関わり



住田町は、岩手県の南東部、気仙地域に位置する町です。
町の面積の約90%が森林の自然豊かな町で、
「森林・林業日本一を目指す町づくり」をキャッチコピーに
FSC森林認証の取得や木質バイオマス利用の促進など、
多様な森林・林業政策を展開しています。

住田町とmore treesのつながりが生まれたのは2011年、
東日本大震災をきっかけとしています。
東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部からの避難者向けに、
住田町は木造仮設住宅を建設しました。
この取組に対してmore treesの「LIFE3.11」プロジェクトから
御支援をいただきました。

これ以降、住田町とmore treesは、
森林・林業を通じて様々な形で連携しています。

< 連携の事例 >

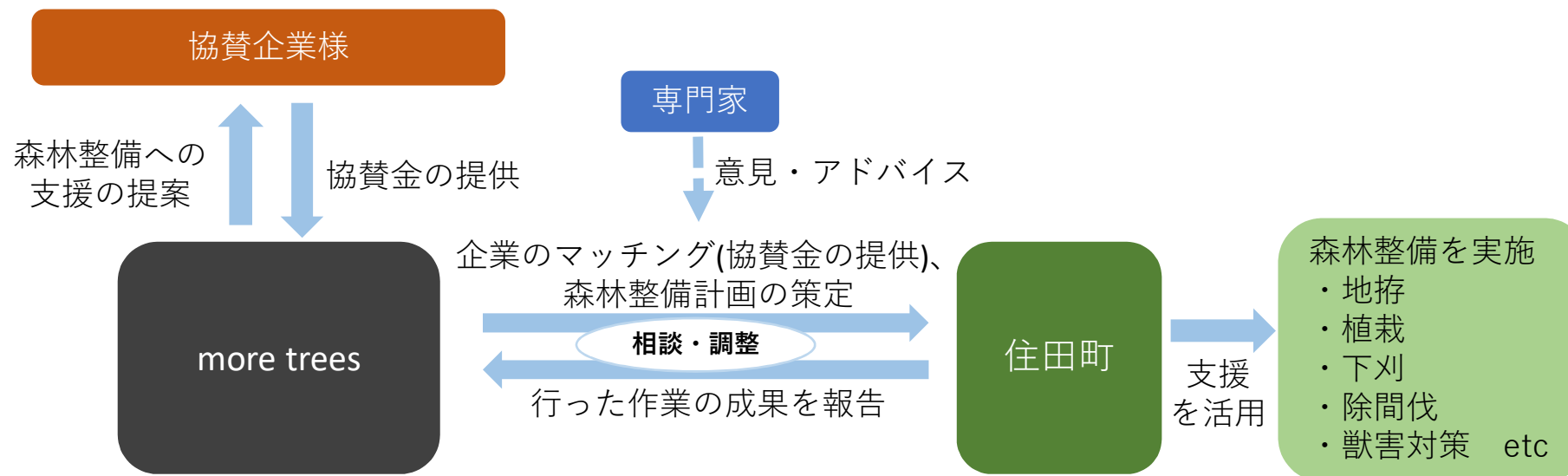
-  住田町が町有林の整備により発行した
カーボン・オフセット・クレジットの取引
-  住田町の林業関係者・有識者との
多様性のある森づくり勉強会の開催
-  企業との森づくりの実施



住田町 more treesの企業との森づくりへの取り組み方



more treesとの連携スキーム（イメージ）



住田町の町有林ではほぼ毎年、地拵、植栽、下刈、除間伐、獣害対策（食害防止施設整備）を行っています。整備が必要な箇所を選定や作業内容の調整、作業に必要な資材の確保には、実際に作業を行う年度の前の年度から取り組んでいます。

住田町では、町有林の中で広葉樹への転換が望ましいとされる土地を探し、その土地に合った森林整備の作業の内容を検討します。作業内容は、more treesや専門家、現地の作業員との相談を重ね、現地の植生や社会条件に適した方法を検討します。

作業中や作業後には、現地を実際に見ていただいたり、more treesを通じて報告したりすることで、いただいた支援の成果を実感していただき、住田町とのつながりを感じていただきたいと思います。

作業地に看板を設置する希望があれば、看板製作・設置を手掛ける事業者を紹介します。